



これからの

# 緑のまちづくり

東浦町緑の基本計画 2021 ▶ 2040

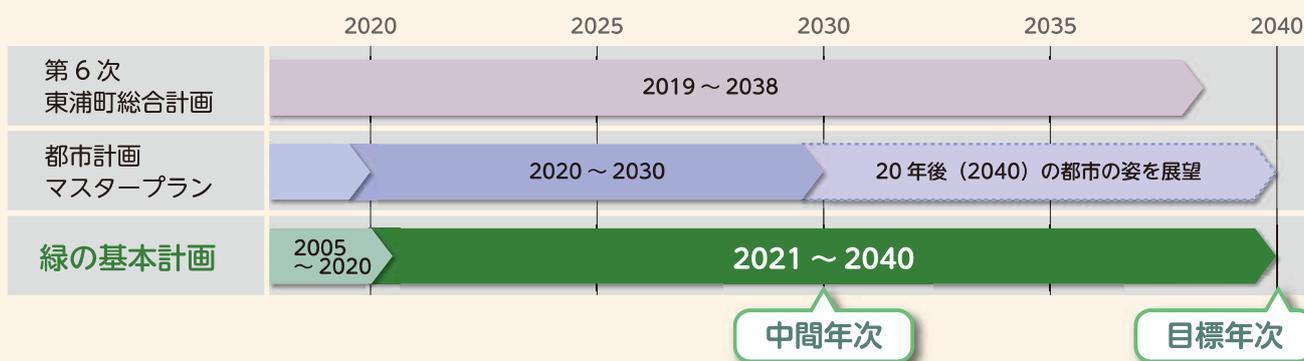
# 1. 「東浦町緑の基本計画」ってなに？

「東浦町緑の基本計画」とは、都市緑地法第4条の規定に基づき策定するもので、緑地の保全及び緑化の推進を総合的かつ計画的に実施することを目的とした計画です。



## 2040年を目標として進めます。

「第6次東浦町総合計画」や「東浦町都市計画マスタープラン」、その他の関連計画などと整合を図り、連携しながら進めます。



### ● 東浦町にあるおもな緑地

石田公園



森岡自然公園



三丁公園



於大公園



みどり緑地



於大のみち



申ヶ池



衣浦湾



みどり浜緑地多目的広場



伊久智神社



乾坤院



農地



### 行ったことがある緑地はありますか？

あなたが行ったことのある緑地にしるしをつけてみましょう。

行ったことがない緑地に行ってみましょう。

## 2. 緑はなぜ大切なのか？



緑には、こんな機能と役割があります。

**地球のいのちを  
まもります。**

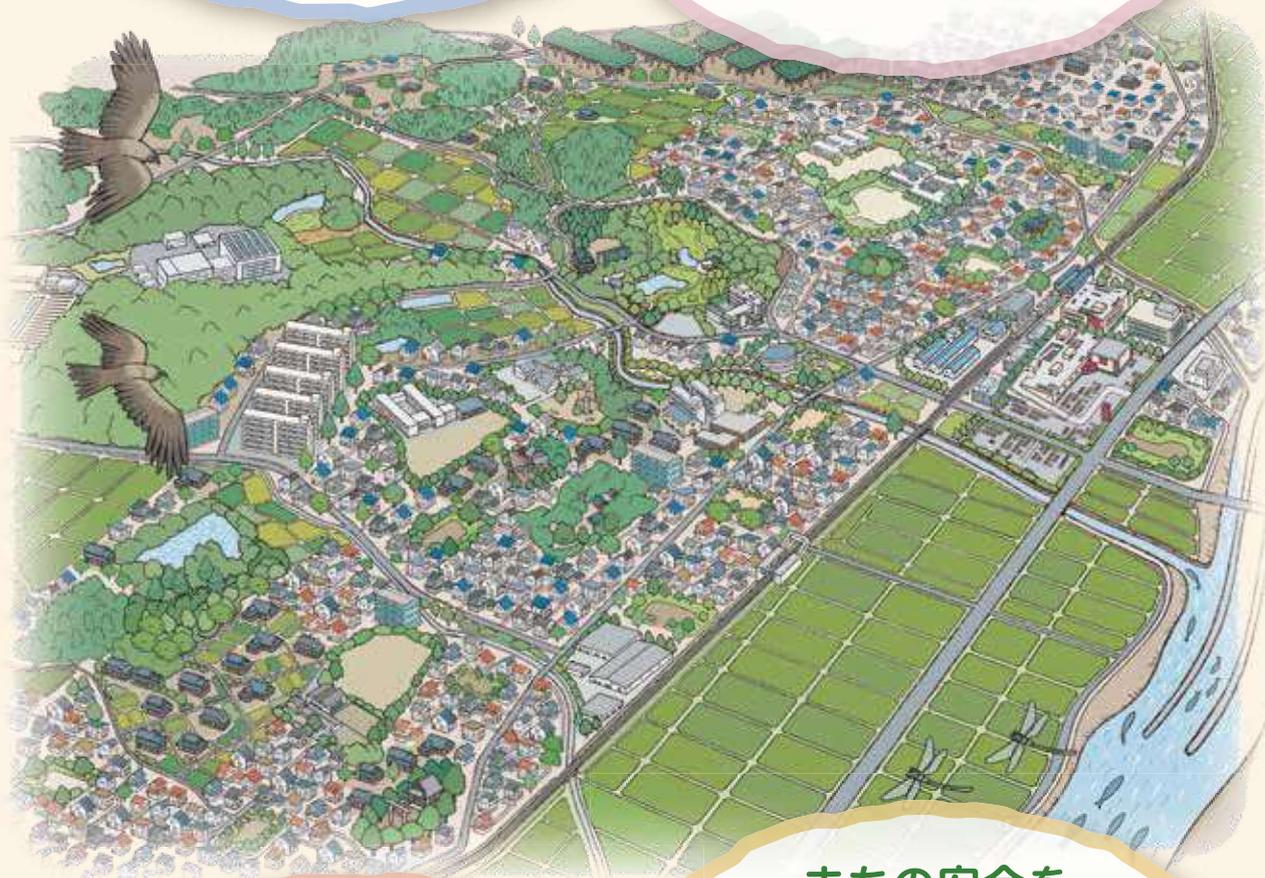
〈環境保全機能〉

- 地球の環境をまもる
- 生きものの命をまもる

**暮らしやすいまちを  
つくります。**

〈レクリエーション機能〉

- 子どもたちの遊び場をつくる
- みんなが集い楽しむ場をつくる



**美しいまちを  
つくります。**

〈景観形成機能〉

- 街路樹や公園の緑が季節感をつくる
- 住宅の生垣や庭の緑が美しいまち並みをつくる

**まちの安全を  
まもります。**

〈防災機能〉

- 広い公園や広場が避難場所になる
- 大雨のとき、水田などの農地が水をたくわえる

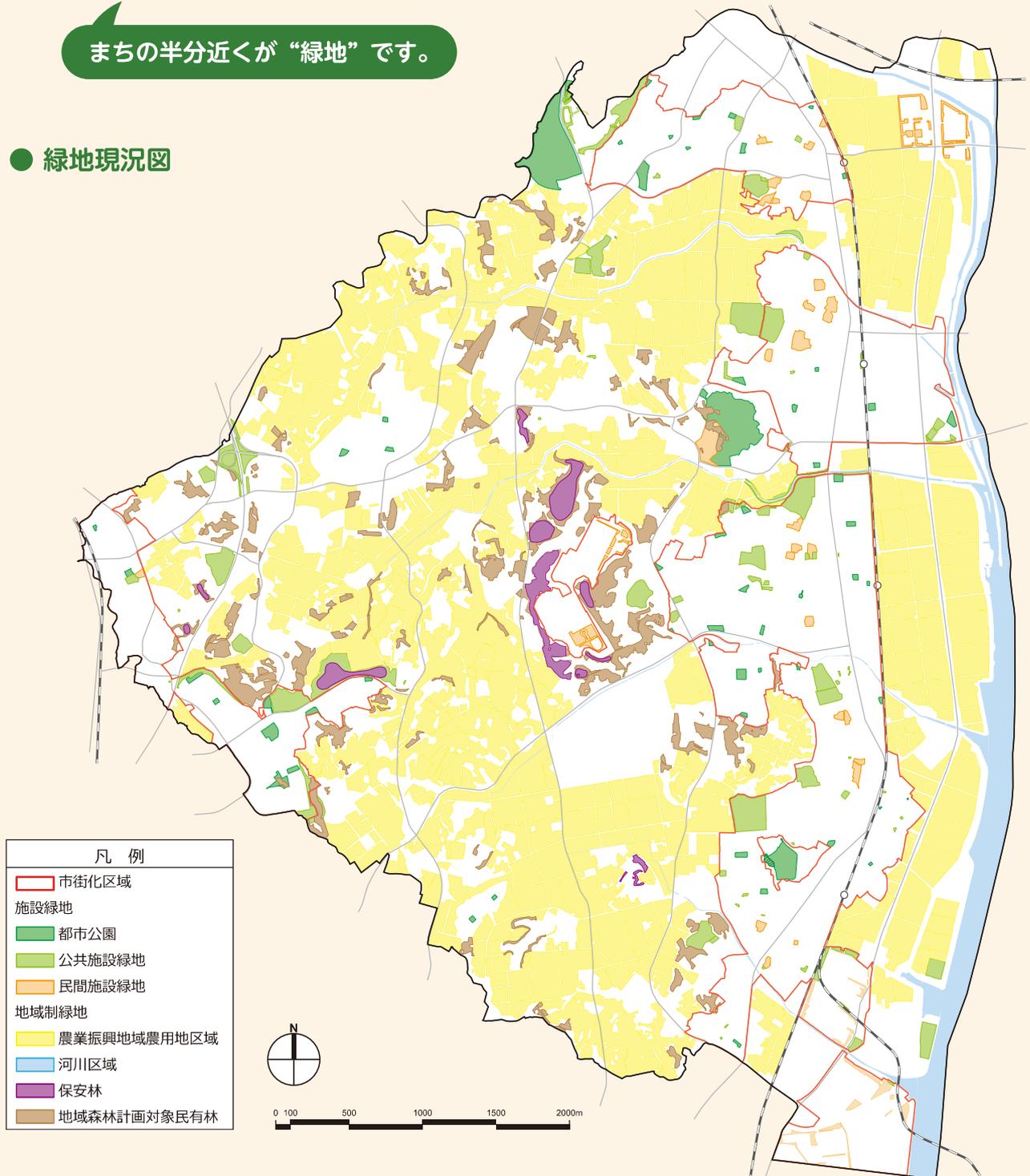
### 3. 東浦町の緑はどうなっているの？



東浦町は、緑豊かなまちです。

まちの半分近くが“緑地”です。

#### ● 緑地現況図



あなたの家や学校は、どこにありますか？

あなたの家や学校など、知っている場所を見つけて、地図にしるしをつけてみましょう。

## いろいろな種類の緑地があります。

### ● 東浦町の緑地の現況

項目		箇所	面積 (ha)	m <sup>2</sup> /人
施設緑地	都市公園	59	38.9	7.7
	公共施設緑地	82	71.1	14.2
	都市公園等(都市公園+公共施設緑地)合計	141	109.9	21.9
	民間施設緑地	32	19.3	3.9
	施設緑地 合計	173	129.2	25.8
地域制緑地	法によるもの	—	1,309.0	—
	条例等によるもの	—	2.8	—
	重複分	—	▲0.4	—
	地域制緑地 合計	—	1,311.4	261.5
重複分	—	▲3.4	—	
<b>緑地 総計</b>		<b>—</b>	<b>1,437.2</b>	<b>286.6</b>
住民基本台帳に基づく人口(2020(令和2)年3月末時点)			50,154	
町域面積 (ha)			3,114	
<b>緑地率 (%)</b>			<b>46.2</b>	

注：四捨五入の関係で計算が合わない場合があります。

### ● 参考：緑地の分類

分類	該当する緑地	町内の主な緑地	
施設緑地	都市公園	都市公園法で規定される公園	於大公園、森岡自然公園 等
	公共施設緑地	都市公園以外の公有地、または公的な管理がなされており、公園緑地に準じる機能を持つ施設	ふれあい広場、児童館、申ヶ池などのため池、小学校・中学校、グラウンド、於大のみちなどの遊歩道 等
	民間施設緑地	社寺境内地の緑地や工場緑化など、民有地で公園緑地に準じる機能を持つ施設	乾坤院などの社寺境内の緑地 工場地内の緑地 等
地域制緑地	法によるもの	農業振興地域整備法 <sup>※1</sup> ：農業振興地域農用地区域	
		河川法：河川区域	
		森林法：保安林、地域森林計画対象民有林	
		樹木保存法 <sup>※2</sup> ：保存樹・保存樹林	
	文化財保護法：史跡・名勝・天然記念物などの文化財で緑地として扱えるもの(入海貝塚、水野家四代墓所、伊久智神社大楠の森 等)		
条例等によるもの	東浦町樹木等保存要綱で指定されている樹木及び樹林	地藏院のカイツカイブキ 村木神社の樹林 等	

※1：農業振興地域の整備に関する法律（正式名称）

※2：都市の美観風致を維持するための樹木の保存に関する法律（正式名称）

# 4. どうやって緑をまもるの？



東浦町は、愛知県西部における

『緑と水のネットワーク』の一部です。

## ● 広域的な緑地の配置図



注) 里山ゾーンは、里山を地域や地形により区分したものです。

東浦町の西側は、愛知県北部から知多半島の先までつながる里山が広がっています。

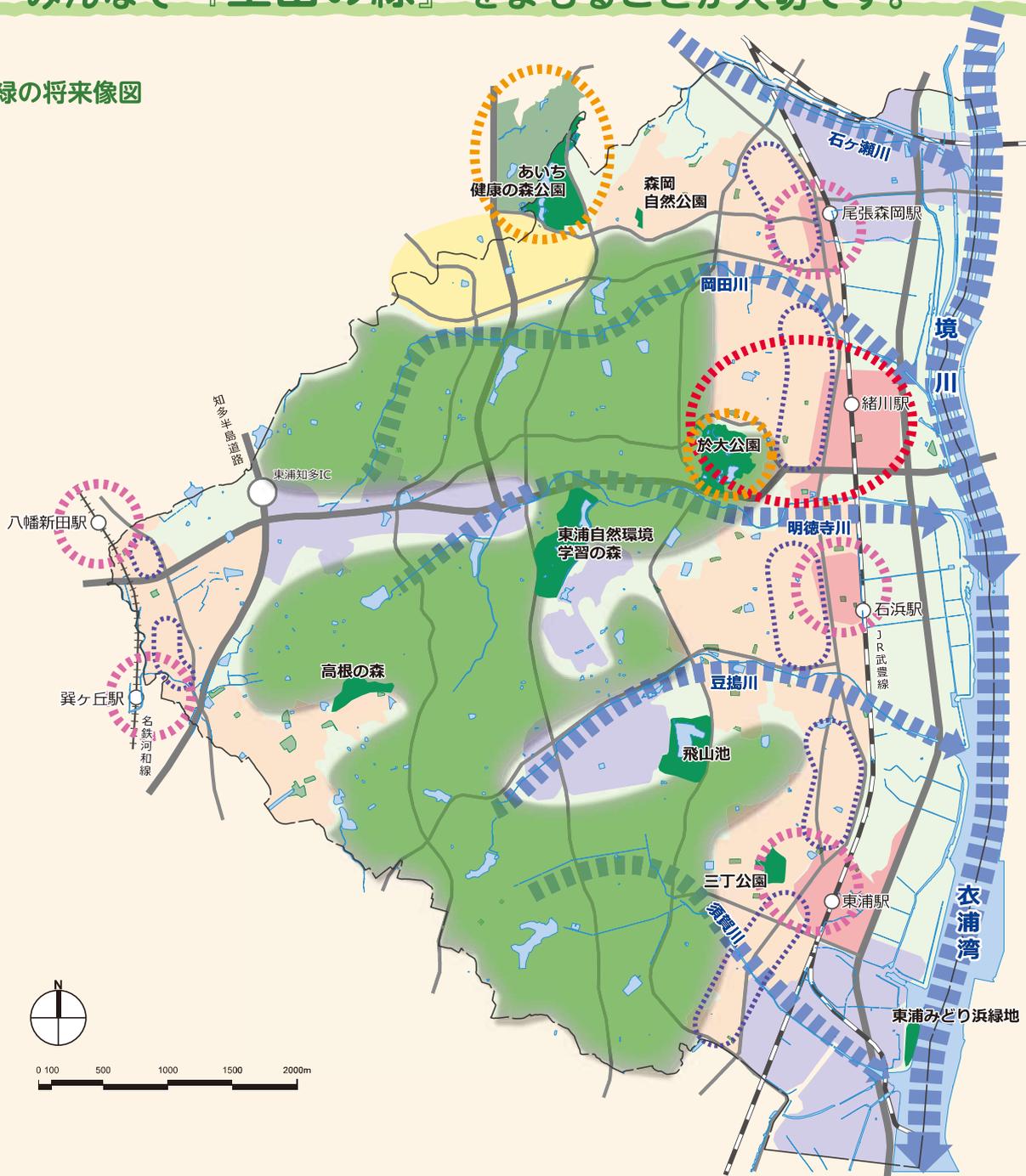
**里山とは？**

里山は、田んぼや小川、原っぱ、うら山など、人々の暮らしと自然とが寄り添いながら、長い時間をかけてつくりあげてきた自然環境です。草花や鳥、昆虫などさまざまな生きものたちのすみかともなっています。



# みんなで『里山の緑』をまもることが大切です。

## ● 緑の将来像図



0 100 500 1000 1500 2000m



- 都市拠点
- 地域生活拠点
- レクリエーション拠点
- 古いまち並みの景観

- 住宅地ゾーン
- 商業地ゾーン
- 工業地ゾーン
- 新産業地ゾーン
- 農地・樹林・集落ゾーン
- 都市公園
- 水面
- 幹線道路
- 鉄道

## 5. どんな緑をめざしているの？

東浦町は、

いのちをまもり暮らしをいろどり 未来につなぐ 緑のまちづくり  
をめざします。



3つの方針を決めました。

### いのちをまもる緑

自然（緑・水）と共生し、災害にも強い緑のまちづくり

緑がもつ多様な機能を活用して、

自然（緑・水）と共生するまちづくりにより生物多様性を保全し、

自然災害にも強い緑のまちづくりをめざします。



東海自然環境学習の森

### 暮らしをいろどる緑

暮らしの質を高める緑のまちづくり

住民の多様なニーズやライフスタイルに対応し、

住みたい・住み続けたいまちを実現する、

豊かな暮らしをいろどる緑のまちづくりをめざします。



於大のみちの桜並木

### 未来につなぐ緑

人と地域のつながりを大切にした持続可能な緑のまちづくり

現在の豊かな自然（緑・水）を100年後の未来に

つないでいけるように、

人とのつながり、地域とのつながりを大切にし、

持続可能な緑のまちづくりをめざします。



アダプトプログラム活動のようす



## 7つの目標を決めました。

	基準値	中間目標 2030 (令和 12) 年	目標値 2040 (令和 22) 年
① 里山の保全活動の参加者を増やそう	2,592 人/年 2019 (令和元) 年	3,200 人/年	3,800 人/年
② まちづくりの改善度を上げよう ※1	13.6 % 2017 (平成 29) 年	20 %	25 %
③ 暮らしの満足度を上げよう ※2	32.6 % 2017 (平成 29) 年	37 %	40 %
④ 住民一人あたりの都市公園等の面積を増やそう	21.9 m <sup>2</sup> 2020 (令和 2) 年	24 m <sup>2</sup>	25 m <sup>2</sup>
⑤ 施設緑地面積を増やそう	129.2 ha 2020 (令和 2) 年	139 ha	148 ha
⑥ 公園の利活用回数を増やそう ※3	75 件/年 2018 (平成 30) 年	97 件/年	116 件/年
⑦ 民間活力で管理運営している公園の数を増やそう	4 公園 2020 (令和 2) 年	10 公園	16 公園

※1：住民意識調査の結果から、里山などの自然環境保全の項目を抽出し、「良くなった」+「まあ良くなった」の回答者の比率を指標とします。

※2：住民意識調査の結果から、公園・緑地の整備の項目を抽出し、「満足」+「まあ満足」の回答者の比率を指標とします。

※3：学校行事やイベントなどで都市公園を利用する場合に提出する「都市公園内行為許可申請書」の件数を指標とします。

## 6. わたしたちにできることは？

協働で進める緑のまちづくり

めざす緑の将来像を実現するためには、いろいろな人々がそれぞれの役割を果たしながら、協働を進めていくことが大切です。



里地里山をまもる活動に参加しよう！

### ● 東浦自然環境学習の森

恵まれた自然環境を有する緒川の新池周辺は、愛知県の治山事業により整備されました。里地里山の自然の中で散策を楽しみながら四季を感じたり、水辺の木道から生きものや植物などを観察してみませんか。

自然につつまれ、そして、癒され、自然の大切さを感じることができると思います。



タケノコ掘りのようす

### ● 藤江小学校の学校林活動

東浦町立藤江小学校の学校林は、竹林を主体とした児童の遊び場・学びの場として、遊歩道や炭小屋などの施設があります。

特徴的な学校林活動として、竹林整備で発生した竹を有効活用していることが挙げられ、竹炭を作る過程を学んだり、地域に竹炭を配布したり、地域の河川に水質浄化用として竹炭を活用したりするなど、多岐にわたる活動を行っています。



地域に竹炭を配布

### 「協働」とは？

共通の目的を達成するために、NPO やボランティア・住民団体などと行政が、お互いの特性を認識・尊重し合い、対等な立場で、共通する領域の課題の解決に向けて協力・協調する関係をいいます。



## 公園や緑地をもっとつかいこなそう！

### ● 於大公園の再整備事業

平成元年の開園から約 30 年を経過した於大公園では、公園内施設の老朽化が進み、一部の施設については、大規模修繕や更新が必要な状況となっています。

平成 30 年度にワークショップを開催して、町民参加のもと公園再整備を検討し、地域の多様なニーズに対応した基本計画を策定しました。



於大公園 ふれあい交流ゾーン

### ● 三丁公園（防災公園）の整備

三丁公園は、誰もが憩える「やすらぎ拠点」、誰もが健康づくりやレクリエーションを楽しめる「健康づくり拠点」、災害時の安全性と機能性を十分に備えた「地区の避難拠点」として整備が進んでいます。

本公園は、主として徒歩圏内に居住する方々が利用する「地区公園」として位置付けられ、地域の人々のイベント利用にも活用されています。



三丁公園でのイベントのようす



## 身近な緑をまもる活動に参加しよう！

### ● アダプトプログラム

東浦町で活動するグループや町内の事業者（2名以上のグループ）が行う道路や公園などの公共の場所での美化・保全活動（散乱ごみや落ち葉などの収集、除草など）を、アダプトプログラムにより支援し、緑のまちづくりをより一層推進します。



活動のようす

### ● 環境美化活動

住民一人ひとりが、地球環境問題や緑が持つ環境保全機能を理解し、緑に関する環境意識の向上を図るため、環境保全活動や環境美化活動などに一人でも多くの人に参加できるように、環境学習や住民交流の場を充実させます。



菜の花の種まき



これからの“緑のまちづくり”について、もっと知りたいときは…

東浦町ホームページ > 「東浦町緑の基本計画」



[https://www.town.aichi-higashiura.lg.jp/gyosei/seisaku\\_keikaku/keikaku/1454930958510.html](https://www.town.aichi-higashiura.lg.jp/gyosei/seisaku_keikaku/keikaku/1454930958510.html)